

## 戦没者遺骨収集における ストロンチウム同位体分析の活用と課題

日下宗一郎（東海大学・海洋学部）

### 1 発表の目的

戦没者遺骨収集において、ストロンチウム同位体分析を活用することができるのか、測定原理や先行研究を概観することで、利用方法や課題について探ることを目的とする

### 2 Sr 同位体分析の原理

- ・骨や歯のエナメル質の Sr 同位体比は、形成時期の食物に由来する
- ・続成作用（土壌埋没中の汚染）は、歯のエナメル質においては限定的である
- ・環境中の Sr 同位体比は、地質の影響を受けて変動する

### 3 Sr 同位体比地図の作成事例

- ・人の起源を探る上で、起源地と対象地域の地質や Sr 同位体比を知ることが必要である
- ・Sr 同位体比地図を作成することは有効な手段の一つである
- ・日本、アメリカ、中国、ヨーロッパ各地の Sr 同位体比地図が作成されている

### 4 Sr 同位体分析による集団判別の事例

- ・ベトナム戦争の戦没者に対して、東南アジア集団とアメリカ集団が判別された事例
- ・ブルガリア集団の判別の事例。Sr だけでなく C, O, Pb 同位体と組み合わせる必要が指摘されている

### 5 まとめと課題

- ・Sr 同位体分析により人の起源地を調べることができる
- ・起源地と対象地域の地質の把握と環境中の値の変動を知る必要がある
- ・起源地と対象地域の戦時中の人々の在地の値を把握する必要がある
- ・Sr 同位体比だけで判別するのではなく、酸素同位体などと組み合わせることが必要